

---

# かわいい後輩 1

kokoro

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

かわいい後輩1

### 【Nコード】

N5941L

### 【作者名】

kokoro

### 【あらすじ】

いつも騒がしい生徒会。その中心はかわいい後輩の梓くんと生徒会長由香里。そんな彼らと生徒会の面々の短編連載ラブコメディ！

(前書き)

とりあえず見てみてください。

「はむはむ」

私の前に食パンを頬ばる一人の少年がいる。

その姿はひまわりの種をたべるハムスターのようだ。

非常にかわいい。

つい食べてしまいたくなるほどに。顔にでないようしっかりと気を張っているが、心の中の理性はすでに崩壊寸前と言っても過言ではない。なにかもう一つかわいらしい仕草でも見せられたら、飛び掛ってしまうこと間違いなしだ。

「ん？どうしたんですか会長？」

目の前の少年が首を傾げながら私にそのつぶらな瞳をむけて問いかけてくる。

もう我慢ならな(r y

ガチャ！

まさに私が飛び掛ろうと椅子から腰を上げようとした瞬間だった。

「寂しかったよー！ー！今日もかわいいー！梓ちゃーん！」

「うわっ！瑞樹先輩！やめてくださいっ！」

ハイテンションな声と共に梓と呼ばれた少年に抱きつく少女。

「うーん。きょうもほっぺたすべすべだねー!」

すべすべなのか……。

「って! まで、瑞樹!」

「なによ由香里。怒ったような声だして。」

「あたりまえだ! なぜいつも生徒会室にくるたびに梓に抱きつく必要がある!」

「なぜって……。そんなのかわいいからに決まってるじゃない。梓は誰のものでもないんだし。ねー?」

「ねー? って言われても……。僕はいつもやめてくださいって言うてるのに。」

そこでしゅんとする梓。

かわいい……。

今にもあちら側にトリップしてしまいそうだ。

「あー。もう我慢できない! ね、梓? お持ち帰りしていい?」

突然なにを!

「ダメに決まっているだろう！何を言っているんだ瑞樹！」

「なんで由香里が答えるのよ。梓が決めることじゃない。」

「風紀の問題だ！生徒会長である私が許さない！」

「こんな時に会長権限なんてズルイわ！」

「ズルくない！不純異性交遊は認められない！」

「ふーん……。実はただ由香里が梓に抱きつけなくて悔しいだけじゃないの？」

「っ！そ、そんなわけないだろう……。」

凶星を突かれた！でもしょうがないだろう。あんなにやわらかそうなほっぺたに、袖が長くて半分くらい隠れてしまっている手。

なにより！

あんな小動物のような目で見られたら誰だって抱きしめたくなくなるだろう。

「ほーら。だんだん語尾が弱くなってるじゃん。天下の生徒会長様が嫉妬で生徒に怒るなんてダメだなー。」

「むぐう！今はそんなことを問題にしてるんじゃない！梓くんを瑞樹が持ち帰ると言ったことについて言及しているんだ！」

「あー、話逸らした。」

「つく！」

ダメだ。梓くんがらみのこととなるとどうしても瑞樹が一枚上手だ。普段なら私が言いくるめられることも無いのに。

そんなことを考えていると未だに瑞樹に抱きしめられたままの梓くんが喋りだす。

「あのー……。そろそろ生徒会の仕事しません？昨日もこんな感じで行事の書類とか溜まっちゃてるんですけど。」

「「あ……。」「

私と瑞樹がそろって声をだす。

「そうだったな。少しは仕事もしないとだ。」

「由香里がいちいち私と梓くんの仲を引き裂こうとするからこうなるんだよ。」

「なにー！」

「そもそも瑞樹が……。」「

「だーーーーーかーーーーーらーーーーー！」

そこで梓くんが大声を出す。少し涙目だ。

「す、すまない梓くん……。」「

「いいですよ……。ちゃんと仕事してくれれば。」

そんな拗ねた顔もかわいい。

「かわいいー！ー！やっぱお持ち帰りー！ー！」

「やめろ瑞樹っ！」

こんな彼女達とかわいい後輩の物語。

(後書き)

後輩の出番すくねえー！！！！

まあ次からはもつとでますがねw

これを見てくれた人、これは短編連載なので思い出したころにまた上がってると思います。なので、ぜひ次も見てくださいと嬉しいです。

あと、できれば私のもう一個の短編も……。

(連載のは見ちゃだめよ?)

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5941/>

---

かわいい後輩1

2010年10月28日08時36分発行